

平成28年度 第2回 加賀市総合教育会議

招集日時 平成29年2月2日（木曜日） 午後4時30分開会／午後4時55分閉会

招集場所 加賀市役所別館3階 201会議室

出席者 宮元陸市長

教育委員会 山下修平教育長、篠原隆一委員、山下裕嗣委員、疎幹子委員

会議列席者 梶谷事務局長、山田次長兼学校指導課長、山本教育庶務課長、渡部教育庶務課長補佐

平成29年第2回総合教育会議開会宣言

宮元市長

挨拶

本日は、加賀市総合教育会議を招集させていただきましたところ、大変お忙しい中、皆様にお集まりいただき誠にありがとうございました。教育長、教育委員の皆様におかれましては、日頃から加賀市の教育に対しまして、多大なご尽力を賜り、改めて感謝申し上げたいと思います。さて、本日の会議でありますけれども、先般、教育委員会として審議いただきました「加賀市立小中学校の規模適正化に向けた基本計画」について、この総合教育会議で協議したい旨のお求めが、教育委員会からあったことを受けまして招集をさせていただいたということでもあります。この基本計画は、児童生徒が減少している現実があり、もう一方で学校における「学び方」があり、それぞれ他者と意見を交わしながら、一人ひとりが主体的に考えをまとめていくといったスタイルに変化してきている状況の中におきまして、今後、児童生徒にとってよりよい教育環境をどのように提供していくかという、そういう意味では非常に重要な計画であると思っております。この基本計画について意見を交換することで、理解をお互いに共有させていただきまして、私と教育委員会とが同じ方向を向いて、よりよい教育環境の確保に向けた学校規模の適正化について検討していければと思っているところであります。それでは、本日の会議が、ぜひ有意義なものとなりますようご協力いただきまして、私からの挨拶とさせていただきます。

山本課長

ありがとうございました。続きまして山下教育長からご挨拶をいただきたいと思っております。

山下教育長

皆さん、こんにちは。本日は第2回の総合教育会議を開催しましたところ、ご多忙中にもかかわらず、教育委員の皆様にはお集まりいただきまして誠にありがとうございました。今ほど市長から説明がありましたが、小中学校の規模適正化の基本計画につきましては、加賀市学校適正規模検討委員会より提言をいただき、昨年7月に教育委員会として案を作成しまして、そして地域住民への説明会を開催しながら、その間パブリックコメントを募集してきました。そこでこの加賀市立小中学校の規模適正化に向けての基本計画、これは将来の加賀市の教育を大きく左右する大変重要な案件でありますので、この総合教育会議の協議、調整事項にあります、教育の条件整備など重点的に講ずべき施策に合致するものであります。そこで教育委員会より総合教育会議の招集を市長に要求しまして本日の開催の運びとなりました。

山本課長 た。どうか慎重な協議をよろしくお願いをしたいと思います。
ありがとうございました。それでは総合教育会議の議事進行は市長が行うことにな
っておりますので、市長、よろしくお願いをいたします。

宮元市長 それではご指名がありましたので、議事に入らせていただきます。
本日の議事は、「加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）について」の
1件です。この基本計画については、昨年7月に教育委員会が「案」として公表さ
れたものを、私も見たところでありますが、改めて計画の概要を事務局からご説明
をいただきたいと思ひます。

● 加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）について

山田次長 資料に基づき説明

宮元市長 ただ今、基本計画について説明がありました。基本計画に対するパブリックコメン
トや地区説明会での意見はどのようなものがありましたか。

山田次長 はい、パブリックコメントや地区説明会では実に様々なご意見をいただきました。
その中でも多かったのは、学校がなくなることで地域コミュニティが失われるので
はないかというご意見です。このご意見に対しましては、公民館活動等の活性化、
その中に子ども達の参加も求めて地域の活性化を図っていただきたいというふうに
回答いたしました。また、あまりに少ない集団では切磋琢磨することが難しいため、
統廃合を進めるべきだというご意見もいただきました。そのほかに小規模校のメリ
ットを活かすべきだというご意見もありました。小規模の基準の捉え方も実に様々
でありました。基本計画では4人グループが4つ程度できる1学級15人以上の学級
が望ましいと。あまりにも少人数になり、少人数のメリットがデメリットを上回っ
た場合には、統合が必要かと考えますというふうに回答いたしました。小学校の規
模適正化につきましては計画はあるのだけれど、中学校についてはどうなのだ、と
いうご意見もいただきました。以上でございます。

宮元市長 基本計画では、9ページに書いてありますように、学校規模の適正化に向けた統合
計画が示されています。今年の3月には黒崎小学校を廃止し、橋立小学校に統合す
ることが既に決まっています。また、平成27年3月には菅谷小学校を廃止して、山
中小学校に統合しました。学校を統合することについて、教育委員会の考え方はど
のようなところにあるのかももう一度聞かせていただけますか。

山下教育長 それでは教育委員会の考え方については私の方からご説明させていただきます。
現在求められている必要な能力というのは、与えられた知識を受け身の形で吸収す
るだけでなく、自ら課題を発見し、そしてその解決に向けて主体的に学び、周り
と試行錯誤しながら他者と協力して、そして新たな価値を見出していくという能力が
求められております。そのために現在は教師主導の授業ではなくて、グループで学
習をしたり、発表するなどして友達と多様な意見交換をすることが必要になってき
ていますし、現在ではそのような授業スタイルに変化をしております。以上の
ことから多様な意見を交換できる、そういう教育環境を教育委員会として提供して

宮元市長
篠原委員

いかなければならないというふうに考えております。その意味において、まずは完全複式学級の早期解消ということで、今、市長が言われた通り菅谷小学校が平成27年3月、そして黒崎小学校が今年の3月に統合が決定いたしました。しかしこの間、地域住民や保護者と、十数回それぞれの地区で丁寧な説明会を繰り返していく中で、地元との合意形成がなされ、そして統合に至ったという、そういう経緯であります。教育委員の皆様からのご意見などはいかがでしょう。

お願いします。今お話があったように、過去には菅谷小学校、そして今年は黒崎小学校ということで、私も現職の時に本当に地域の方に支えていただいた経験を持っております。その学校を統廃合せざるを得ないということは、本当に地域の住民の方にとっては苦渋の決断であったと思っております。そのうえで先ほどからお話がありますように、学校がなくなると地域コミュニティが崩壊してしまうのではないかと心配がものすごくあるということなんですが、学校が今、仮にそれで統廃合されても私自身は、子どもは地域の宝として育てていただきたいし、地域住民全体の中で子育てをしていただきたいと思っております。それで先ほど次長さんのお話がありましたが、今公民館などが各地域にありますけれども、その公民館の中で子ども達を巻き込んでそのような活動を活発に行っていくながら、学校がないからというんじゃなくて、住民主体で地域づくりをどんどんやっていただけないかなと思っている次第であります。

宮元市長
疎委員

他にございませんか。

はい。やっぱり市民の方から新聞記事の中学校の統廃合について聞かれましたし、あまり小学校がなくなったり、そして加えて中学校までということになると加賀市が本当に寂しくなっていくみたいに感じられますので、やっぱり中学校の統合議論について出たのは時期尚早だったかなという感じがしますので、ちょっと検討した方がいいのかもしれないですね。

宮元市長

教育委員会としては先日の会議で、それまでの計画案に対して中学校の統合検討に関する記述をあえて追加したようですが、計画の意味合い的な理由から加える必要があったということで、その辺ももう一度説明をお願いします。

山下教育長

はい。記述を加えた理由ですが、パブリックコメントの中で「中学校については将来的にも現状を維持し続けるのか」といった意見がございました。これに答えるために、「案」で示していた「生徒数の極端な減少がない限り」について、補足説明を加えたものであります。ですから、中学校の統合を今すぐ検討するといった趣旨で追加したものではありません。

山下委員

よろしいですか。先ほど言われていました菅谷小学校、黒崎小学校、橋立小学校がたまたま自分の担当地域であるんですが、元々教育委員会で基本計画を揉んできたベースは、人口が減少してきて、それを議論してきた延長にあるかと思います。確かに菅谷の地域を見ても、小学校の統廃合は何年も前から地域の大問題であって、そういった中で、でも今の教育長のお話である、学校のあり方を踏まえていると思っていただくというのが基本であったかと思います。この教育委員会ですべて揉んできたのは、実際、小学校の数字を見ていった検討であって、中学校のことについて

てはあまり議論を尽くしていなかったと思います。その中でパブリックコメントの中の2件の意見、橋立中学校が1クラスで固定化するという意見に対しての、中学校の統合は基本的には考えていないんですけれども、将来的にはという部分についての付け加えだったと思います。実際の計画の一番最後の6項目内の住民参加による学校規模適正化の実現の項目(4)に基本計画の見直しというのがあるわけで、総合的に判断するべきものではなかったのかなというので、個別に中学校の存続をあまり議論を尽くしていないものであるので、ちょっと早かったかなと思っております。ですから、本来の教育委員会の意見と実際の見た方の意見相違があったんじゃないかという気がしております。

篠原委員

私の方からも今、気になっていることを申し上げたいと思っているんですが。今両委員さんもおっしゃっていましたが、この計画案の9ページのところを見ますと、ここでは中学校の統廃合については何も載ってないんですよ。小学校だけで、中学校については当面は現在の学校を存続するというのを私としては基本認識でございました。だけれどこの間の新聞記事を読まれて、市民の方から中学校も統合するのかという話が出てきたので、それは違うんですというようなことがあるので、我々の意図していないことが保護者や地域住民の方に伝わったんじゃないかという心配を抱きました。そこでその記述が若干勇み足といいますか、ちょっと早かったんじゃないかという気持ちもいたしました。

山下教育長

この新聞発表があった翌日にちょうど校長会がありまして、やはりその場でも中学校の統合について、いくつかの戸惑いの意見が出されました。そこで誤解を招いてはいけないということで、校長先生方には説明をさせていただきました。それから一般市民からも電話で何件か問い合わせがありました。その反響の大きさに教育委員会としてもちょっと困惑しております。我々の思いと違った形で捉えられているんじゃないかという心配もしております。そこで、この記述に関してはもう一度考え直す必要があるのではないかと感じています。

宮元市長

他、ございませんか。よろしいですか。いろいろとお話をお聞きして、表現というのは非常に難しいわけでありまして、そのような思いがなくてもそういうふうに伝わっていく場合も無きにしも非ずであります。元々、市政懇談会の中でもいろいろお話を申し上げておりますが、あくまで話し合いをし、議論を尽くした中で物事を決めていくという基本的な市としてのスタンスで、基本中の基本でありますので、合意形成をしっかりとやりながら前に進めていくということでもあります。お話をお聞きして、表現というのは結構デリケートな部分があるので、是非表現には細心の注意を払っていただいて記載をしていただくようにしたいと思っております。何回も申し上げますけれども、あくまでも合意形成は基本だと、私は個人的には思っておりますし、常々申し上げますので、その部分の表現の再検討を是非していただければいいのではないかなと思いました。

山下教育長

はい。教育長としましても、中学校の統合については基本計画通り、現在の学校を存続するというこの方向性を変えるべきではないと思っておりますし、あくまでも市民の方々が誤解を招かないように、ただいま教育委員の方々からいろいろご意見

宮元市長

をいただきましたが、適切な記述に直す必要があるのかなという意味合いで、再検討してみたらいかがなものかなという風に思っております。

あとは何かよろしいですか。だいたいいろんなご意見を伺いました。私の方でも今申し上げたことであります。計画全体としては大変良く仕上がっているなと思えますし、全体の中身については私の方から異議を申し上げるものはないんですけれども、ただひとつ表現をもう一度精査をしていただいて、しっかりとそのうえで公表していただければいいのではないかなと思いました。規模適正化の基本計画の議論についてはこのようなことかなと思いますが、何か他にどうしても言いたいことがもしあればおっしゃっていただければと思いますが、どうでしょうか。

よろしいですか。

特にないようでありますので、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。次回は2月27日に教育大綱の審議でお集まりいただくということであります。

どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。